



「あれから40年」

新潟地区部会長 佐藤 眞治

新潟地区部会ニュースの巻頭言を担当させていただきます新潟薬科大学応用生命科学部食品分析学研究室の佐藤眞治でございます。宜しくお願い致します。この巻頭言を書いていますのは2022年の夏でありまして、新型コロナウイルスのオミクロン株「BA.5」の感染が急拡大し、各地で過去最多の感染が報告されている時期です。2019年から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が流行し始めて、4年間、卒業パーティーや懇親会が開催できなくなり、学会や研究室での懇親会への参加経験が全く無い学生が卒業を迎え、単立って行くの姿を見ますと、ちょっと可哀そうな感じがします。新潟地区部会の懇親会も中止とさせて頂きました。

新潟地区部会の地区部会長と関東支部常任幹事の歴代の先生方のリストを見せて頂く機会がありました。新潟地区部会は1982年に新潟大学の先生が部会長を務められた時に発足され、以来2022年で40周年を迎えることとなります。その間の部会長は、新潟大学、新潟薬科大学、上越教育大学、長岡技科大、長岡高専、新潟県保環研の先生方が務められ、活発に活動を続け、今の新潟地区部会を作り上げてきました。私事ですが、1982年に新潟薬科大学を卒業していますので、部会長のリストにお世話になりました先生方のお名前を見つめますと、なんか懐かしいノスタルジックな気分になりました。あれから40年経過している訳で、私もいろいろな経験をさせて頂きました。自己紹介ではないのですが、富山医科薬科大学院で行った研究は、“薬物の血中濃度と薬理効果に関する速度論的解析”というテーマで、“分析”というキーワードでの関連性は、“質量分析装置を用いた血液中の微量薬物濃度の定量”になります。現在でも“食品中の機能性成分の微量定量法の確立”というテーマで、研究を続けています。従いまして、日本分析化学会の年会・討論会で議論されている研究内容や機関誌・論文誌で発表されている研究内容の中では、中央ではない所の“隅”の方の研究を行っていると思っております。

“分析”を取り扱っている研究機関は、新潟大学や新潟薬科大学だけでなく、他にも多数の研究機関が新潟県にあります。多様な研究機関で多様な研究を行っている研究者の方々の多様なお考えや御協力を得て、新潟地区部会が今後益々発展して行きますことを祈念致しまして、巻頭言とさせていただきます。

第35回新潟地区部会研究発表会

主催 日本分析化学会関東支部
同新潟地区部会

主催 (公社) 日本分析化学会関東支部・同新潟地区部会

期日 令和4年11月18日(金) 13時から

会場 新潟大学五十嵐キャンパス物質生産棟1F-161室

[新潟市西区五十嵐2の町8050番地] 別添の地図をご参照ください。

プログラム

13:00 - 13:05

開会の辞 佐藤 眞治 新潟地区部会長 (新潟薬科大)
支部長挨拶 津越 敬寿 関東支部長 (産総研 計量標準総合センター)

13:05 - 13:50 座長 佐藤眞治 (新潟薬科大)

特別講演 発生気体分析－質量分析の高度化
(産総研計量標準総合センター物質計測標準研究部門) ○津越敬寿

14:00 - 15:15

一般講演

座長 則末和宏 (新潟大学)

講演 1 薬物の消化管吸収に及ぼす経腸栄養剤の影響
(1新潟薬大, 2医療法人 愛広会新発田リハビリテーション病院)
○桑原直子¹, 清水 (太田) 美穂¹, 不破史子¹, 佐藤則泰²,
継田雅美¹, 佐藤眞治¹, 中川沙織¹

講演 2 ICP-MS法によるヨウ素の分析
(新潟県環境衛生研) ○田中教雄

講演 3 第四級アンモニウムで修飾したセルロースの特性評価および
水溶液中からの陰イオン界面活性剤 (ドデシル硫酸ナトリウム)
の吸着法の検討
(1新潟大院, 2新潟大工, 3秋田大院)
○ZOU Ming¹, 宮本直人², 狩野直樹², 大川浩一³

座長 松岡史郎 (新潟大学)

講演 4 新潟市のヘリウムガス不足対応
(新潟市水道局) ○川瀬悦郎

講演 5 新潟県内河川におけるマイクロプラスチック調査
(新潟県保環研) ○高橋修平, 茨木剛, 旗本尚樹, 長谷川翔,
武直子



15:30 - 16:30

ポスターセッション

16:50 -

表彰式

閉会挨拶 佐藤眞治 新潟地区部会長（新潟薬科大）

参加費 無料。

* 対面とZoom を用いたハイブリッド形式で実施予定です。

Zoom による参加を希望される場合には、下記まで直接お申込み下さい。

Zoom のID 等をお知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により開催場所や開催方式を変更する場合があります。その場合は、メール等で速やかにお知らせいたします。

申込・照会先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

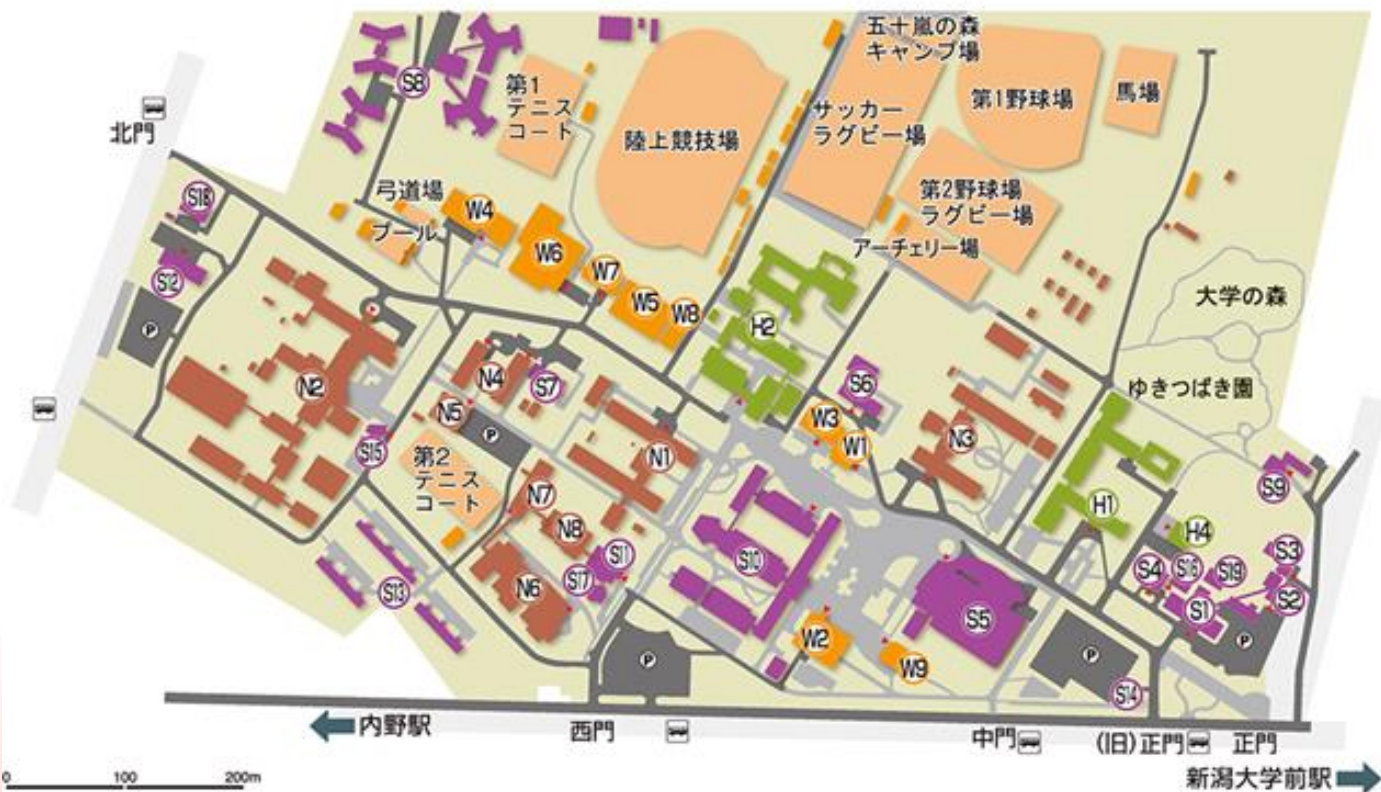
新潟大学理学部 則末和宏

[電話・FAX：025-262-6359 E-mail: knorissue@env.sc.niigata-u.ac.jp]

会場のある物質生産棟の場所は下記の地図をご参照下さい。

新大西門を入れてすぐ左側にある**N6**の建物になります。

会場は西門側の入り口を入るとすぐ左側にあります。



令和3年度新潟地区部会若手賞 受賞者からの報告

新潟薬科大学 大学院
薬学研究科
清水（太田） 美穂



この度、日本分析化学会関東支部新潟地区部会若手賞の栄誉を賜り、前関東支部長の山本博之先生はじめ、ご審査いただきました選考委員の先生方、そして新潟地区部会の先生方に心より感謝申し上げます。

今回、日本薬学会の英文学術誌 *Biological and Pharmaceutical Bulletin* にて2021年に刊行されました「*New Inhibitory Effect of *Latilactobacillus sakei* UONUMA on the Cholesterol Biosynthesis Pathway in Human HepG2 Cells (vol. 44, No. 4, pp. 485-493, 2021)*」の研究成果を評価して頂きましたので、その内容をご紹介します。

動脈硬化の原因である脂質異常症は、日本における患者が約220万人と報告されており、その多くは日常の食事療法が必要です。一方、乳酸菌は普段の食生活に取り入れることができ、また、中性脂肪値の低下、コレステロールの吸着作用など様々な機能が報告されています。そこで本研究では、新潟県の魚沼地域の雪室から新たに発見された乳酸菌ウオヌマ株 (*Latilactobacillus sakei* UONUMA株) について、ヒト肝がん由来HepG2細胞およびコレステロール合成マーカーの高感度一斉GC-MS定量法を用いて、コレステロール生合成経路の下流に対する作用を検討しました。結果、細胞内のコレステロールが減少し、コレステロールの前駆体であるラノステロールおよびデスモステロールが増加しました。その作用部位として、この生合成経路に関わる **24-dehydrocholesterol reductase (DHCR24)** の mRNA の阻害が認められ、乳酸菌ウオヌマ株のコレステロール生合成経路の下流を抑える新しい作用を発見しました。DHCR24の阻害は、脂質異常症の治療の約9割で用いられるスタチン系薬物と作用部位が異なるため、これらの併用により、相乗効果も期待できます。そのため、乳酸菌ウオヌマ株におけるコレステロール生合成経路下流の抑制の発見は、脂質異常症予防として、健康寿命の延伸につながると考えられます。

今後も脂質異常症に寄与する薬物や機能性食品因子の探索、新しい疾患マーカーの探索および医薬品の効果に関する評価系の確立など診療や治療に繋がる研究で、薬学および臨床検査学分野に貢献したく考えております。また、今回の受賞を励みに博士の学位取得に向けて、より一層精進していきたいと思っております。

最後となりますが、本研究にあたり、ご指導いただきました当研究室の中川沙織准教授にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

日本分析化学会関東支部 新潟地区部会幹事会報告

2022年度第1回新潟地区部会幹事会が6月16日にウェブ会議（Zoom）で開催されました。はじめに、昨年度の活動報告、会計報告と関東支部常任幹事会報告が行われ、次に本年度の運営及び行事計画の議題に入り、幹事及び任務分担、予算などについて審議を行い、活発な議論がなされました。

以下には、本年度地区部会幹事及び昨年度の会計報告を示します。

2022年度新潟地区部会執行部および幹事

2021年度新潟地区部会 会計報告

執行部

会長		佐藤眞治
副会長		高橋英司
庶務幹事	幹事会担当	(正) 奥村寿子 (副) 後藤真一
庶務幹事	発表会担当	(正) 則末和宏 (副) 松岡史郎
会計幹事		(正) 則末和宏 (副) 狩野直樹
関東支部常任幹事		高橋由紀子
ニュース幹事		(正) 中川沙織 (副) 小瀬知洋
若手支援幹事		(正) 古川貢 (副) 土田智宏 (副) 植木優作

1.地区部会会計

【収入の部】

単位（円）

前年よりの繰越金	2,023
広告料	19,000
利息	0
合計	21,023

【支出の部】

次年度への繰り越し金	21,023
合計	21,023

2.発表会に関する会計（関東支部会計）

【収入の部】

関東支部補助金	16,578
合計	16,758

【支出の部】

通信運搬費	2,828
表彰日	13,750
合計	16,578

幹事

梅林 泰宏	川田 邦明
下村 博志	村山 等
家合 浩明	

監査

渡邊 幸久

参与

今泉 洋	梅田 実
澤田 清	佐藤 敬一
嶋田 健次	福崎 紀夫
山田 明文	大和 進

会員募集のご案内

日本分析化学会および新潟地区部会では、会員を募集しています。

地区部会の会員は現在150名（産業界40名、官界30名、学界80名）です。地区部会への入会費および年会費は一切無料です。

地区部会は、地区部会ニュースの紙面や地区部会研究発表会および懇親会に参加することで、分析に携わる多くの仲間との意見交換や親睦を一層深めるための組織です。

お気軽にご参加ください。連絡は、各幹事または部会長までお願いいたします。